

みなとぴあボランティアレター 第42号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ / 2020.8

今回はお伝えする活動が少ないため、いつもより内容少なめの「ミニレター」としてお届けします。

7/18・19 再開！新規ボランティア研修

7月18日（土）から新規ボランティア研修が再開しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3月より中断していたので、約5か月ぶりの研修となりました。研修生からは、「久しぶりで緊張した」「はじまるのを心待ちにしていた」といった声が聞かれました。

研修は、18日（土）に常設展示、19日（日）に敷地を行いました。両日とも、ベテランガイドさんから実際にガイドをしていただきました。研修生のみなさんは、メモをとったり、質問したりして自分なりに理解を深めようとしていました。ベテランガイドさんからは、「家ではガイド場所の写真をみながら声に出して練習するとよいですよ」といったアドバイスも。また、「見極めが不安な方がいたらお手伝いしますよ」と研修生に声がけをしていた方もおり、ボランティアどうしでの交流が広がりそうな予感がします。

研修は、8月にも行われます。研修後は、みなとぴあでのボランティア活動を楽しんでいただけたらと思います。



常設研修の様子



敷地研修の様子

職員紹介



企画普及課
総務担当次長

いとう たいすけ
伊藤 泰介

新潟市中央区出身

50年以上も昔の話です。小学生の私にとって“税関”は恰好の遊び場でした。特に夏休みには毎朝早くにやって来て、当時あった大きなポプラの木で蟬の幼虫が羽化するのを観察していました。夏休みの良い思い出です。なので、現在のみなとぴあでの日々は小さい頃の思い出がいっぱい詰まった箱の蓋を一つ一つ開けていく作業に似た、幸福な時間なのです。恵まれた立地条件と施設内容を活用し、大好きなみなとぴあにもっともっと多くの人に来てもらいたと思っている今日この頃です。



**学芸課
学芸担当次長**

おおもり しんこ
大森 慎子

群馬県伊勢崎市出身

お久しぶりです、初めまして！11年ぶりに戻って参りました。担当は美術です。調査研究や展示ができる環境に感謝し毎日楽しく仕事をしています。今は、秋の五十嵐俊明展を中村学芸員と一緒に準備しています。せっかくなので、美術も新たなボランティア活動部会を立ち上げたいと思っております。美術に興味のある方はぜひ！一緒にみなとびあを盛上げましょう。仲良くして下さい。

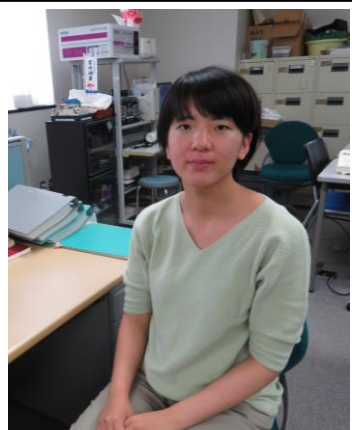


企画普及課

しだら あきこ
設楽 明子

新潟県十日町市出身

5月より企画普及課で施設管理・経理業務等をしております。これまではりゅーとびあの勤務でしたが、あまり地域の方と接する機会はなかったもので、みなとびあでは常にボランティアの方が事務所に入出入りしているのがとても新鮮に感じられます。今年は例年と違う様相で、まだみなとびあの本来の姿を見られていませんが、私も一緒に学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



**学芸課
資料整理担当**

あべ
阿部 ころ

新潟市江南区出身

本年3月に京都造形芸術大学(現京都芸術大学)を卒業し、4月より資料整理業務をしております。大学のゼミでは日本庭園の活用について研究し、サークル活動では寺院でのボランティアガイドに打ち込んでいました！地元の新潟で働きたいと思っていたので、みなとびあで働ける日々がとてもうれしく、楽しいです。仕事を通じて新潟の歴史や文化についても勉強したいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします！

【編集後記】

新型コロナウイルス感染防止の観点からなかなかボランティア活動ができず、やっと7月から少しずつはじめることができました。といっても、予定していた活動のほとんどを実施できず、また最近、全国で感染者が増加しつつあります。ボランティア活動の見通しが立たず、菌がゆい思いをしている方も多いと思います。「ボランティア活動が生きがいののにできない」といってくださる方もおり、私もやりきれない気持ちです。また再び安心して活動ができる日がくることを祈りつつ、状況をみながら少しずつ活動していきましょう。企画展をみたりイベントに参加したりというように、たまに館に顔を出していただくと嬉しいです。(鈴木)

2020.7 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港150周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

